



NO.

いちよう

発行所

待乳山 本龍院

〒111 東京都台東区浅草7-4-1

-0032 TEL. 03(3874)2030

FAX. 03(3874)5280

山上のお堂

住職 平田真純

待乳山は高さ約一〇メートルほどの低山であります
が、参道の階段を上り本堂が近づくにつれ、徐々にさ
わやかな気分になってくるのではないかと思います。

考えてみれば、私たちが登ることが出来る日本中の
多くの山の頂上付近には、お堂や祠ほこらなどが建ち、神様
や仏様が祀られていることが多いものです。苦勞して
登った先にお堂や祠に迎えられると、心が洗われるよ
うな気分になり、また、ほっこりした安心感から、「無
事登ってくれました、ありがとうございます」と思わ
ず手を合わせたくなるものです。同時に、ただ登った
という達成感だけではなく、頂上まで来た意義や精神
的な奥行きを感じることでしよう。

神仏のありがたさというものは、物事の指標、目的
への励みになることでもあります。そして物事の過程
や結果に対して、より奥行きのある考えが生まれてく
ることでもあります。

よく「こんなことを聖天様をお願いしてもよいのだ

ろうか」と不安を感じてお参りをされる方もいらっし
やるようですが、正直な心でお参りする気持ちは大切
です。もちろん常識的に、道義的に、あまりにも欠け
るようなことはどうかと思いますが、そうでなければ、
聖天様をお願いするという気持ちになったのなら、そ
れもご縁ですから、どんなことでもお願いされたらよ
ろしいかと思えます。間違ったことであれば、聖天様
は必ず正してくださいし、お願いすることによつ
て、心や智慧の奥行きが広がります。

心の迷いや悩みから、時には重い足取りで階段を上
られることもあるかもしれません。そういう時は、余
計なことを考えず、心の中で「オンキリギャクウンソ
ワカ」と、聖天様のご真言を称えながら本堂に向かっ
てください。そうやって入堂すれば、肩の力も少しは
抜け、心も引き締まっていると思えます。それこそ山
道を登り切ったときのように、心身ともにリラックス
して、何か心が開かれるような気分になるでしょう。

待乳山にはバリアフリーのためのスロープカーもご
ざいますが、可能な方はぜひ正面の山門から階段を上
ってお参りください。

待乳山便り

七五三 お宮参り

箱崎莉咲ちゃん



木村凌くん



大塚繁史・仁結ちゃん



南地光希・悠翔くん



岡霧瑠くん



中野椿己くん



餅田泰輔くん



細居大資くん



金子理乃ちゃん



谷本美結ちゃん



小長谷季代ちゃん



西入千代・茜杏ちゃん



歡喜講演 天根のおはなし報告

十月二十一日、歡喜講終了後は、野



菜ソムリエの資格を持ち、銀座で続くフランス料理店「エスコフイエ」の社長でもあるK A O R Uさんをお招きして、大広間にて当山と縁の深い大根についての講演を開きました。

まず大根の歴史から始まり、様々な種類の太根や、ことわざや水墨画、俳句など、幅広い分野が話題になり、最後はK A O R Uさんの専門である調理法について詳しく解説していただきました。

待乳山聖天 お月見の会報告

十月二十四日、聖天町会と当山が中心となり、お月見の会を開催しました。

当日は快晴。静かな夜空にきれいな月が浮かぶ中、僧侶による声明が辺りに響き渡りました。大広間に移動した後は、竹本弥乃太夫師匠、望月太左衛門様による鼓と三味線による演奏を楽しみました。

平成三十年度信徒旅行報告

十月二十八日から二十九日にかけて、約四十名の参加者で生駒聖天、石切神社、四天王寺へ参拝に向かいました。

特に生駒聖天では大般若法要を厳修していただき、聖天様に御礼を申し上げます。当山とは修法の異なる真言律宗の大般若法要に皆様驚いていたようです。短い期間でしたが、思い出に残る旅行となりました。



十二月御縁日大法要 行事紹介

十一面観音様御開扉

十二月八日(土) 午前九時から午後二時

十二月八日に御本尊大聖歡喜天様の御前立ち、十一面観音様の御開扉が行われます。浴油祈禱終了後、住職によって御宮殿が開かれた後、内々陣手前にて参詣と焼香が行えます。午後二時には閉扉の法要が執り行われます。

内陣に鎮座されている十一面観音様をご覧になれる貴重な機会です。皆様お誘いあわせの上、御参拝ください。

聖祭 十二月二十二日(土) 午前十一時

講金一、五〇〇円(二鉢毎五〇〇円) 送料二〇〇円

一年間の除災延命の祈願を行う星祭を執行いたします。最も夜の時間が長くなる冬至の日に、吉凶を司る星を供養することにより、今年一年の喜びを噛みしめ、来年一年が良い年になるように祈願いたします。ぜひ星祭にお申込みいただき、尊天様の御加護をお受けください。

お申し込みの方にはお名前と年齢が入ったお守りを授与します。用紙にお名前と生年月日をご記入の上、寺務所にて受付けください。

納めの法要 十二月三十一日(月) 正午

大晦日、一年の御加護に感謝し、正午から本堂と境内の各末社で読経いたします。

大聖歡喜天利生記

神仏が衆生に利益を与えることを利生りしょうと呼びます。かつての当山誌『歡喜』に掲載された信仰体験談をシリーズでご紹介いたします。

今月の利生記を書かれた京塚昌子さんは昭和五年生まれ、劇団新派で活躍された女優です。テレビドラマ「肝っ玉かあさん」「ありがとう」シリーズなどで母親役を好演。日本を代表するお母さん女優として評判を呼び、数多くのCMにも出演されています。

こころの泉

京塚昌子

(歡喜一号 昭和三十四年発行より)

私がお聖天様にお詣りさせていただくようになりましたのは、三年前の東横ホール公演の折からです。『月夜鴉』のお勝、『女中の青春』の千代子、と大役を二つもいっしょにいただき、もう何か落ち着かない気持ちに襲われ、ほんとうに困ってしまいました、そんなとき衣裳屋さんの木下の小父さんが「それなら是非お聖天様にお詣りしなさい。」と勧めて下さったのです。

「きつと成功しますよ。」あの木下さんの強い言葉は今でも忘れることが出来ません。

丁度、朝のお勤めの時間で、私は小父さんに教え

られるままにお堂に入り、生まれて初めてお聖天様の前に坐らせていただきました。

するとどうでしょう今まで乱れていたところが次第に引きしまつて来るではありませんか。そして何か身体の奥底から泉のように湧き出るものを知りました。今思うとその泉が、私の大役に臨む自信を与えてくれたのです。

お堂のまわりをぐるっと廻ってお詣りすることも教えていただきました。それ以来、初日と楽日には、毎月お詣りをしていなくて何か忘れ物をしたようで気持ちが落ち着かなくなってしまうのです。それでも永年お詣りなさっている伊志寛先生や皆様方のように、まだまだ行きません。お経も知らず、お作法も出来ず、お聖天様もずいぶん無礼な信者だとお笑いになっていることだろうと思います。清々しいあの石段を一つ一つ上がるごとく、コツコツとお詣りを続けて行く決心しております。

まだ日の上がらぬうちにお詣りした今年の初詣での清い気持ちそのままの気持ちで、この先も舞台が続けられるよう、ただただお祈りするばかりです。
※当時掲載された文章を再編集しています。(文責 編集部)

本堂煤払い

十二月七日(金)

正午より今年一年の塵を払う煤払いを行います。当日のご参拝、お札のお受け取りなどは午前中のみとなりますのでご注意ください。



正月行事ご案内

正月特別即時祈祷 三が日の午後一時、二時、三時より、特別即時祈祷を厳修いたします。内陣にて行者が皆様の新年の開運を祈願致します。

祈祷料 三、〇〇〇円

お屠蘇接待

三が日の間、本堂において信徒総代、世話人より当山名物の開運お屠蘇と、お子様にはお菓子の接待がございます。お参りがお済みになりましたら、ぜひお召し上がりください。

毘沙門天の特別拝観

元日〜十五日

普段本堂の奥におまつりしております浅草名所七福神の毘沙門天様を、内陣左手手前の仮座におまつりします。ぜひご参拝ください。

大般若講

大根まつり

一月七日(月) 午前十一時より午後一時

大般若講の法要後、皆様の身体健全・厄除け祈願の風呂吹き大根をお配りいたします。

大根まつりお手伝い募集

大根まつりの前準備及び当日の運営のお手伝いを募集いたします。五日、七日両日ともお手伝いいただける方のみ、寺務所にてお申し込みください。募集人数 先着二十名



十二月、一月の坐禅の会はお休みさせていただきます。

十二月行事予定

御縁日大法要

御宮殿御開扉

十二月八日(土) 午前九時から午後二時 参拝 無料
秘仏の御前立ち十一面観世音菩薩様を参拝できます。

星祭大法要

十二月二十二日(土) 午前十一時 講金一、五〇〇円也(一躰増毎五〇〇円)
来年の除災延命祈願をいたします。一人一人にお守りを授与いたしますので、ご家族でお申し込みください。

朝まいりり会

十二月一日〜七日 午前八時から八時半 会費 五〇〇円也
都合のよい日に、ご参加くださっても結構です。最終日には、読誦終了後に食事作法を行います。

本堂煤払い

十二月七日(土) 正午から
恒例の煤払いを行いますので、お参りは午前中にお済ませください。

日曜勤行

十二月九日(日) 午前九時 参加費 無料
初心の方も気軽にご参加いただけるおつとめの会です。

写経の会

十二月九日(日) 午前十時/午後一時 会費 五〇〇円也
心を落ち着かせて写経することで、日常を離れ、自分を見つめ直しましょう。
午後の部は人が少ないため、落ち着いて写経が行えます。

合同大般若法要

十二月二十五日(火) 午前十一時 法要料 五、〇〇〇円也
心願が成就し、より一層の御加護を頂くために、皆さんと一緒に上げする御礼の法要です。

納めの法要

十二月三十一日(月) 正午
この一年のご加護に感謝し、本堂を初め、各末社にお参りいたします。

一月の行事 御縁日大法要

大根まつり

一月七日(月) 午前十一時 講金 二、〇〇〇円也

百味講

一月二十日(日) 午前十一時 講金 一、五〇〇円也

ご祈禱のご案内

祈禱料

聖天様独特の供養法である浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力により一層高められ、私どもが不可能と思われるような願い事でも、尊天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。

当山ではこの浴油祈禱を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈禱期間をお伝え下さい。

またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

別座祈禱 壱万円(一週間)

浴油祈禱 三千五百円(一週間)

華水供 五百円(一日)

法要案内

当山では予約にて法要を行っております。寺務所にてお問い合わせください。

百味供養 法要料 八万円

沢山のお供物をお供えし、出仕の僧侶が声明をお唱えすることで、尊天さまに御礼の供養をいたします。

大般若法要 法要料 五万円

所願成就御礼の法要として、大般若経六百巻を転読いたします。

自動車加持 法要料 壱万円

当院にてお車のお加持をいたします。当日はお車にてお越しください。

皆様からのご質問、お知りになりたいことを受け付けております。ご意見やご質問は kyou@mitsuchiyama.jp までメールをお送りください。